

# 会館だより



2014年7月号

No. 301



公益財団法人 日中友好会館



## 目次

### 行事案内

#### 《日中友好会館美術館》

- ・貸美術館催事「国際画家展」

#### 《日中友好後楽会》

- ・談話会
- ・年会費のお支払いについて
- ・後楽会活動に関するアンケートについて
- ・新規会員ご紹介

### 活動記録

- ・日中友好会館代表団が北京・敦煌を訪問
- ・5月談話会
- ・小田原ホームステイの感想
- ・北区日中友好協会“日中友好促進懇談会”感想記

### コラム

- ・理事長のツイッター

### 会館行事と人の動き

#### 表紙

中国少数民族「毛南（マオナン）族」 人口約10万人  
おもに広西チワン族自治区に居住

農耕と牧畜を生業にし、特に食用牛「マオナン菜牛」が特産。道教を信仰し、歌を愛する。  
毎年夏至には、各家で五色の餅を飾って五穀豊穰を祈る「分龍節」が行われる。

※中国文化部発行の「認識中国 五十六民族」から抜粋して、少数民族を紹介します。



## 行事案内

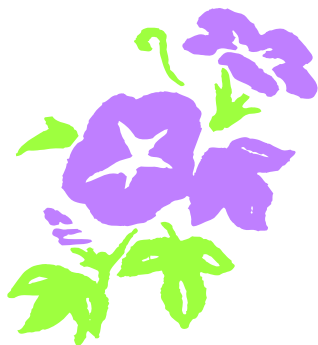
### 日中友好会館美術館

#### ◆貸美術館催事 「国際画家展」

会 期：7月8日 ～7月14日  
時 間：10時～17時  
\*最終日は15時まで  
主 催：亜細亜国際美術会

アジアにおける美術の発展を基本理念にしています。油彩画、韓国画、中国画、日本画、水彩、版画、出版美術（さし絵、風刺画、絵本原画）等の具象絵画を展示します。

【問合せ】 亜細亜国際美術会  
電話：043-377-7737



### 日中友好後楽会

#### ◆談話会

7月は中国旅行、8月は夏休みのため、談話会はお休みです。次回は9月11日(木)に「孔子」をテーマにした談話会を予定しております。詳細は来月号にてお知らせします。お楽しみに。

#### ◆年会費のお支払いについて

4月に会員の皆様へ今年度分の年会費の振込案内を郵送いたしました。お支払い済みの方には順次会員証と宿泊優待券をお送りしております。ご案内が届いていない方がいらっしゃいましたら事務局までお申し付けください。

#### ◆後楽会活動に関するアンケート

4月に年会費の振込案内とともにお願いしましたアンケートには、多くの方にご協力いただき有難うございます。提出締切日は、5月末日とさせていただきますが、引き続き受け付けておりますのでぜひご協力をお願いいたします。尚、アンケート結果はまとまり次第、会員の皆様にお知らせする予定です。

#### ◆新規会員ご紹介

2014年6月入会  
栗原 弘子さん、石橋 重夫さん、  
小島 正彦さん（入会順）

#### 【申込み・問合せ】

後楽会事務局 小林、緒方、大竹  
電話：03-3811-5305 FAX：03-3811-5263  
メールアドレス：kourakukai@jcfc.or.jp

## 活動記録

### ◆日中友好会館代表団が 北京・敦煌を訪問

#### 中国人民対外友好協会設立 60 周年記念大会で習近平主席が講話

5月14日から5月18日まで、日中友好会館代表団として、江田五月会長、武田勝年理事長、王昆中国代表理事等6名が訪中し、北京と敦煌を訪問した。日中友好会館と中国日本友好協会の相互訪問協議書に基づく年1回の定期交流を目的とした訪中で、北京で中国国際友好大会及び中国人民対外友好協会設立60周年記念大会に参加し、また、甘肅省敦煌市では、甘肅省人民対外友好協会や敦煌市人民政府、敦煌研究院と交流深化に向けて意見交換するとともに、敦煌莫高窟や鳴沙山などを参観し、現地の風土と歴史に触れた。

5月15日に北京の人民大会堂で行われた中国国際友好大会及び中国人民対外友好協会設立60周年記念大会には、習近平国家主席が出席、江田会長は各国・地域からの出席者代表とともに習主席に会見した。

大会で、習主席は重要講話を發表し、各国・地域からの出席者850名に向けて、「人民の友好は世界平和と発展を促進する基礎である。人類の平和と発展という崇高な事業をともに推進してゆこう」と力強いメッセージを伝えた。主催者である中国人民対外友好協会の李小林会長が60年の歩みを振り返りスピーチし、王毅外交部長、唐家璇中国日本友好協会会長も出席、日本からは鳩山由紀夫元総理がスピーチしたほか、日中友好7団体関係者など約70名が出席した。

大会の終了後、当財団一行は王秀雲中国日本友好協会副会長に歓迎会を開いていただいた。席上、王副会長から、5月以降、日本の政治家の北京訪問が活発となり、中国指導部

と対話を重ね、一昨年来の日中関係の緊張した局面が緩和に向かっていることが紹介された。と同時に、今後の関係改善に向け、同協会と当財団が、民間団体の役割を發揮し、青少年交流を軸として着実に交流を実施していくことを確認しあつた。



中国日本友好協会の王秀雲副会長（左4）らの  
歓迎を受ける

5月16日からは甘肅省敦煌市を訪問した。賈泰斌敦煌市長、劉曉林甘肅省人民対外友好協会副会長をはじめとする関係者の歓迎を受け、現地の発展状況や日本との関わりについて紹介を受けた。今年3月には青少年交流事業で甘肅省の大学生が訪日、6月12日から当財団美術館で敦煌壁画作品展を開催、また来る7月には日中友好後楽会が甘肅省を訪問する予定であり、さらなる交流の深まりが期待される。

17日には敦煌研究院を訪問し、樊錦詩院長を表敬訪問。これまで延べ44名に及ぶ敦煌研究院からの研究員留学生の受け入れや、敦煌文物の日本への紹介などの長年の文化交流の積み重ねの上に、一層の関係強化に向けて意見を交換した。代表団は全員が初めての敦煌訪問であり、研究員の解説を聞きながら、莫高窟の色鮮やかな壁画の数々を見学し、それ

らを制作した人々や、石窟の発見以降に保存修復・研究に携わった多くの人々の思いを感じ、連綿とつながる悠久の歴史に思いを馳せた。



賈泰斌敦煌市長（右）から莫高窟壁画の飛天をデザインした木彫りを贈られる江田五月会長

敦煌市ではまた、鳴沙山・月牙泉、ソーラー発電基地を見学し、砂漠地帯独特の自然環境と、それを利用した開発・発展計画について理解を深めることができた。

代表団は北京・敦煌での活動を終了し、江田会長一行は5月18日に帰国した。

武田理事長、王昆中国代表理事等3名は北京に延長して滞在し、中国外交部の薛剣アジア司日本处处长、中国社会科学院の李揚副院长、中華全国青年連合会の万学軍主席助理、中国宋慶齡基金会の井頓泉副主席と面談し、青少年交流事業推進のため、率直な意見交換を行った。

## ◆5月談話会

5月15日、黒竜江省出身で日本女子大学国文科にて日本文化を研究されている祝葵さんを講師に迎え、「中国における日本語教育の現状」をテーマにお話しいただきました。



講師の祝葵さん

講義では、中国における日本語教育受容の歴史、教育段階別の状況、日本語を学ぶ学生の目的や就職状況、学習過程でぶつかる壁のほか、中国に浸透した日本文化として、アニメや歌などのポップカルチャー、「人気」「過労死」など日本語から派生した新しい中国語の紹介もあり、バラエティに富んだ内容となりました。講師から中国人留学生に日本語の読み方を問いかけ、後楽会会員が手助けをする場面もあり、参加者は外国語学習の奥深さを楽しみながら感じる事ができました。



講義後の質疑応答

(後楽会事務局)

## ◆小田原ホームステイの感想

日本に来てから初めてのゴールデンウィーク、三人の寮生達と小田原の小嶋夫妻の家に行き、日本式のホームステイを体験した。二泊三日の行程は短かったが、楽しいことも多く、思い出をいっぱい作った。

小田原に着いた一日目、小嶋夫妻の熱心なおもてなしを目の当たりにした。初めて会うので、言葉の壁があり、少々気まずかったが、小嶋夫妻の朗らかな対応で、すぐに雰囲気も盛り上がってきた。小嶋先生は日本酒がお好きで、日本酒を飲みながらみんなと日本語や英語で話をして楽しく交流した。出身地から日本のおいしいものに至るまで、学校の専門から欧米との文化差異に至るまで、私たちはだんだん話が弾んで、とりとめなく話し続けた。いつも夜九時にはお休みになる小嶋夫妻だが、あの日は私たちと夜十一時まで話し、そのあと互いにおやすみを言った。

二日目の北条五代祭は本当に私たちに正真正銘の日本伝統文化を体験させてくれた。おにぎりを作ったり、天ぷらを揚げたり、小田原城址を見学したり、北条五代祭のパレードを見たり、武士の服を試着したりした。すべてが新鮮で面白かった。



北条五代祭りにて

最後の一日のスケジュールは更に素晴らしいものだった。小嶋夫妻は私たちを連れて、彼の家から山の中腹にある果実園に行き、新鮮な果物を採らせてくれた。遠くに富士山と熱海を望み、山と海が相連なって、天と地が一直線の景色を目に焼き付けた。その後、海辺まで降りて行って、子どものように楽しく過ごした。

小嶋夫妻の人となりは、私を大変敬服させた。お二人は八十歳のお年寄りで、人あたりが良く、細かなことに気が付き、思いやりがあって、朝食のコーヒーのミルクの組み合わせのような小さな点など一人一人に合った習慣や好みも配慮していただき、お湯を提供するように、私たちのために考え、私たちの自由活動をする時間まで別にとっておいてくれた。二日目は五六時間歩く道のりで、私たちはみな疲れて歩けなくなったが、二人のお年寄りは、やはりしっかりと私たちに寄り添っていてくれ、これには大変に感動させられた。小嶋夫妻は私たちの専門と研究方向に基づいて違った意見を出してくれたり、喜んで私たちのために資料を提供したりしてくれた。今思えば、名残惜しくて別れたくなく思う。小嶋夫妻の招待にはとても感謝している。今回のホームステイは私たちに日本文化を理解させてくれ、熱心なおもてなしをしてくれた日本夫妻とも交際ができた。私たちにこのような機会を与えてくださり、留学生事業部にはとても感謝している。私たちは今後も中日両国の文化交流のために、できることから少しずつしていきたいと思う。ありがとうございました。

(後楽寮生 王明輝)

## ◆交流なくして友好なし “日中友好促進懇談会” 感想記

2014年5月30日晚、東京都北区日中友好協会の招待にあずかり、当該協会主催の“日中友好促進懇談会”に幸運にも参加することができた。日本側からは会員及び政界、財界、文化界の代表や北区在住の方々、日中友好促進活動に熱心な一般住民などが出席した。今回の催しは私たち後楽寮の寮生に、これら日本各界の社会的地位を有する人々と交流する機会を与えてくれ、多方面にわたる交流の貴重な機会を与えてくれたのだった。このたびの懇談会の中で最も感慨深かったのは、この会の席上で何度も話が及んだ“交流なくして友好なし”この言葉である。基本的には懇談会の全体が、この一つの主題の下で順調に進行したのである。



ご来賓と寮生達

まず、日本側の主催者側が、中国側の来賓に対して敬意を表し、中国国歌である「義勇軍進行曲」をかけた。これは会場にいた中華子女たちを沸き立たせた。日本側は積極的に友好交流の促進に取り組んでいることに深い誠意を感じ、私たちの心に深く染み入ったのだった。その後、日中双方の代表が丁寧にあいさつを述べた。心の奥底まで染み渡るあいさつであった。このような情熱が満ち溢れる発言からは、日中の友好発展が確かなもので

あり、良好な交流の先には素晴らしい未来図が待っているのである。続いて、立食交流会が始まった。豊富でおいしい日本料理をたしなみながら、北区議会議長の戸枝大幸先生（早稲田大学法学部出身、おそらく私の先輩だろう）のお話があった。懇談会組織委員の柳田昌男先生たちとの交流からも、日本側の中国留学生に対する熱意と友情がしっかりと伝わってきた。彼らは今後も日中友好交流促進方面に本腰を入れて取り組むよう希望を示した。北区に在住している中国雲南省出身の凌さん（女性）自身の経歴は日中友好のお手本のようなであった。彼女は来日以降、北区の日本の友人のお世話を受けたと言う。その結果、日中友好交流活動に身を投じることになったのである。この例は私の心をととても強く打ち、いわゆる友好交流のスローガンとして体得させた。宣伝ではなく、一回一回の小さい出来事の積み重ねが、巨大なエネルギーと偉大なる実践となって湧き上がってきたのである。もう一人の北区在住の日本婦人は、自ら私たちに折り紙作品を見せてくれた。そして空いている時間を利用して作った作品を一つずつ私たちにくれたのであった。このように精巧でかわいい折り紙の図形を見ると、日本の友人の深い愛情を感じずにはいられなかった。



いろいろな折り紙作品をいただきました

晚餐の過程で、日中双方が持ち寄った多くの演技プログラムがその場に興を添えた。中国側からは寮生による古箏の演奏「春江花月夜」、日本側からはハーモニカで「荒城の月」

などの演奏があり、懇談会の雰囲気を一気に盛り上がらせた。この二つの曲はともに優美で素晴らしく、各民族特有のメロディーを備えている。日中双方の人々は皆、精神的な喜びしさを得た。なるほど音楽というのは、国境がないというように、交流もまた民族の境界線を越えることができる。国家の境界線もそうだ。このように精神レベルで影響しあい、共に享受しあうことを通じて、両国民の永久的な平和と友好を維持することができる。そのあと、司会者より2008年オリンピック女子卓球監督で福原愛などを指導した近藤欽司氏の紹介があり、近藤氏が挨拶をした。その中にも日中友好の証拠を見ることができた。交流と友好の視点から見ればなんと重要なことであるか。最後は、北区日中友好協会会長の原田先生の演説で閉幕した。意気軒昂とした演説は人々の心を大きく揺さぶったのであった。原田先生はご高齢であるが、お体はしゃんとしており、話しぶりも十分覇気がある。声は大きな鐘のようであり、とりわけ日中友好発展について話が及んだり、私たちのような後輩への深く切実な希望を託したりするとき、純粋な気持ちで、どんな者でも目覚めさせるような力強いお話をされる。このような戦争を経験してきた年代の先輩方でさえ日中友好交流に関して、今なお自信がみなぎっているのである。私たち平和の収穫を得てきた後輩が、両国の平和的発展のための友好交流活動の後に続くことを断る理由があるだろうか。

会の後、帰途についてから、“交流なくして友好なし”この言葉がずっと耳について離れず、長い間、落ち着くことができなかった。ひょっとしたら私は今後も積極的に日中交流に身を投じていくかもしれない。精いっぱい日中友好を推し進めることを人生のモットーにしたい。

(後楽寮生 曾文科)

## 【新刊紹介】

「中国の“穴場”めぐり」

日本日中関係学会 編



——本書の特徴は、単に景色がすばらしいとか、観光的な価値があるとかいうだけでなく、紹介を通じていまの中国の文化、社会、経済の背景をも浮き彫りにしようと心掛けたことでしょうか。中には旅行社に頼んでも、簡単には行けないような場所もあります。一元中国大使・日中関係学会会長 宮本雄二（※日中友好会館 副会長）『まえがき』より——

広大な中国はまだ見ぬ「穴場」だらけ!? ガイドブックにはない名所がずらり。ホロンバイル、カラクリ湖、巴馬村…。本書では中国での滞在経験豊富なメンバーが、「訪れる価値のある観光地」を地図と写真、コラムを交えて紹介。執筆者は商社マンや大学教授、メディア関係者、留学生など日中関係学会会員が中心です。

「もう中国では行ってないところがない」、「知られざる中国の秘境に行ってみよう」という方必見です。

A5版 160頁（フルカラー） ¥1,500+税

購入問合せ先：(株)日本僑報社

Tel: 03-5956-2808 / e-mail: info@duan.jp





## コラム



## 理事長のツイッター

(公財)日中友好会館 理事長 武田 勝年

本年5月16日～18日、中国日本友好協会のアレンジで江田五月会長に同行して、敦煌を訪問する機会に恵まれた。敦煌市賈泰斌市長、甘肅省人民対外友好協会劉曉林副会長他との懇談、交流を行った他、敦煌研究院を訪問し樊錦詩院長と面談した。敦煌研究院と当会館は長年に亘って親しいお付き合いが続いており、和やかな雰囲気の中で敦煌の概要について説明を受けた。会館地下一階廊下に展示されている「飛天頌」と「菩薩行」は、1989年同研究院段文傑院長（当時）から寄贈されたものだ。又、昨年30周年を迎えた敦煌研究院と東京芸術大学との学術交流のために来日する研究員は全員後楽寮研修棟に宿泊しており、その人数は計44名に達している。

5月17日、莫高窟735窟の内、代表的な11カ所の窟を鑑賞させて頂いた。4世紀から14世紀まで約千年に亘って、砂漠の中の崖に大きな窟を穿ち、巨大な仏像や壁画を製作した人々の精神力と作品の迫力に圧倒され、日常の瑣事に惑わされず「頑張れ」と激励されている感じがした。

帰国後、改めて井上靖の『敦煌』を読んだ。居眠りで進士の試験に失敗した趙行徳が、西夏（1038年チベット系のタングート族が建国）の女から貰った布に書かれた西夏文字を読みたいと思って西夏の靈州に向かうところから始まる物語だ。最後は、西夏が敦煌（沙州）に攻め込んだ時に、現地の僧侶と趙行徳が大量の経巻を戦火から守るため窟に埋め込むところで終わる。11世紀前半の話であるから、日本では藤原道長が死んで藤原氏の全盛期に陰りが見られ、武士が勃興する時代である。この時代は日本でも何々の乱と呼ばれる抗争はあったが、この小説に書かれている西夏と宋、更に西域諸民族が入り乱れた戦乱は、登場する勢力が多く、人物も多士済々でスケールが違う。

中国の長い歴史の中で見られる北方諸民族の南下は、まるで活火山の間欠泉が吹き出す様だ。南北朝時代の北朝、宋時代の遼と金、元（蒙古）そして清（女真）等があるが、これらの動きはそれぞれその時代の社会体制や政治制度に大きな変革を齎したことは間違いない。戦乱と変革を通じて、中華の世界が強靱になり、人民は智慧を蓄積してきたのであろう。今回の敦煌訪問を通じて、改めて中華世界の歴史の重みと複雑さを再認識することが出来た様に思う。7月には、日中友好後楽会の皆さんと一緒に、甘肅省蘭州、張掖（甘州）、酒泉（肅州）、嘉峪関を訪問する。甘肅省の景観を眺め、各地の遺跡を訪問して、中国に対する理解を今一步深めることが出来れば有難いことだ。



## 会館行事と人の動き 5/1～30

### 会館行事

- 5/1 ▶ 後楽会気功・中国画教室
- 5/2～5/4 ▶ 小田原ホームステイ（後楽寮生）
- 5/14 ▶ 日中友好会館代表団訪中（江田会長他～5/18、武田理事長、王昆理事他～5/20）
- 5/15 ▶ 後楽会気功・中国画教室
  - ▶ 後楽会談話会・交流夕食会「中国における日本語教育の今」（講師：祝葵）
- 5/20～5/25 ▶ 貸美術館催事「祝逐之書法作品日本展」（5/20 開幕式）
- 5/26 ▶ 臨時評議員会

### 来館・訪問・面会

- 5/7 ▶ 中国大使館文化部懇親夕食会（何静公使参事官他、武田理事長、小島事務局長他）
- 5/27 ▶ 中国国家観光局東京事務所 張西龍首席代表 懇親夕食会（江田会長、武田理事長、王理事）

### 行事参加、その他の活動

- 5/15 ▶ 中国人民対外友好協会（CPAFFC）設立60周年記念大会（江田会長、武田理事長他）
- 5/30 ▶ 北区日中友好協会 日中友好促進懇親会（留学生事業部、後楽寮生）

